

# 各施設における歯科保健の取組状況アンケートの概要

大阪府生涯歯科  
保健推進審議会

資料1-2

令和8年3月23日

## 【調査概要】

調査期間: 令和7年8月14日～令和7年9月5日

調査対象: 大阪府内に所在する介護老人福祉施設および介護老人保健施設: 670施設

大阪府内に所在する障がい児入所施設および障がい者入所施設: 97施設

回答状況: 介護老人福祉施設・介護老人保健施設: 270施設(回答率40.3%)(内訳: 介護老人福祉施設171施設、介護老人保健施設99施設)

障がい者(児)入所施設および障がい者入所施設97施設: 50施設(回答率51.5%)

## 歯科医師による歯科健診の実施状況

歯科医師による歯科健診を実施している割合は、前回調査と比較して増加しました。

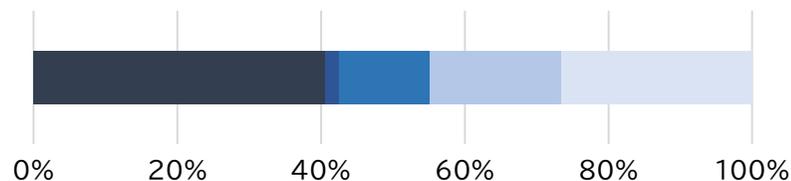
(介護老人福祉施設・介護老人保健施設: R4 55.1%→R7 69.3%)

(障がい者(児)入所施設 : R4 70.0%→R7 84.0%)

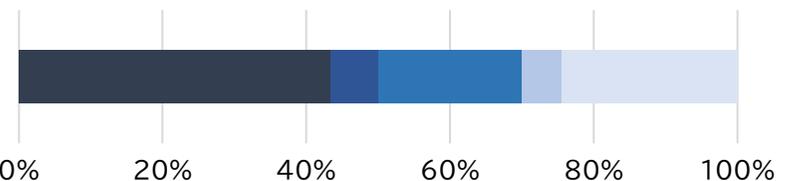
介護老人福祉施設・介護老人保健施設

障がい者(児)入所施設

R4

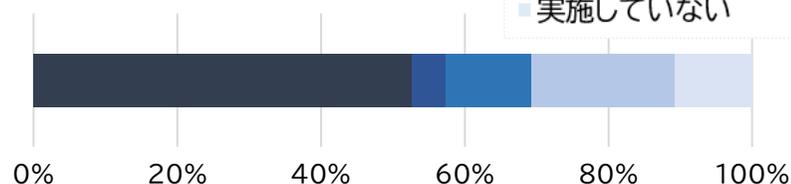


0% 20% 40% 60% 80% 100%

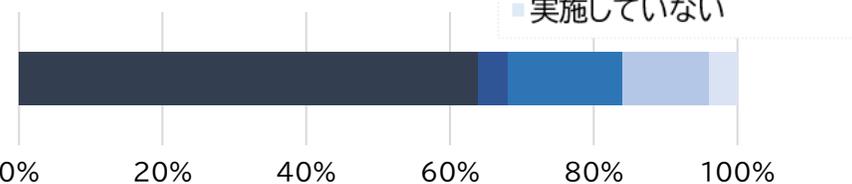


- 年に3回以上
- 年に2回
- 年に1回
- 不定期(数年に1回程度)
- 実施していない

R7



0% 20% 40% 60% 80% 100%



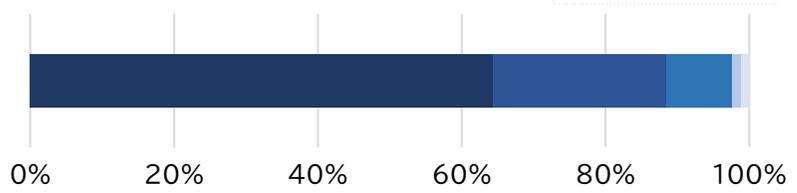
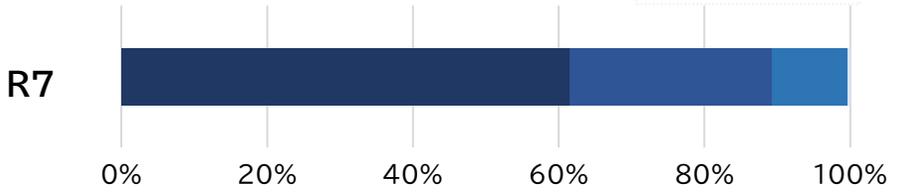
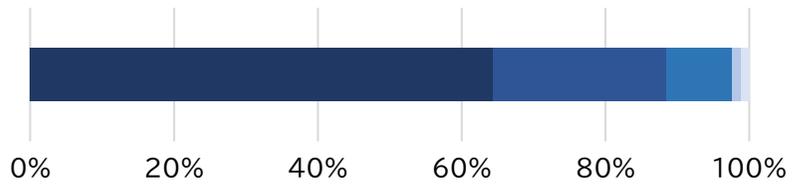
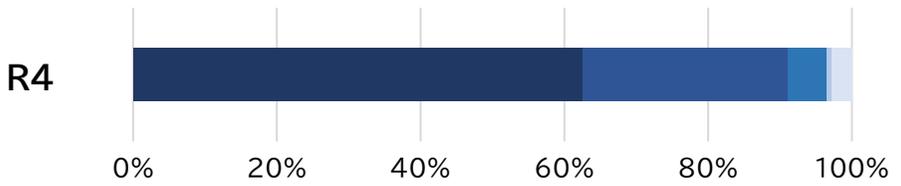
# 口腔ケアの実施頻度

・介護老人福祉施設・介護老人保健施設  
回答のあった全ての施設で職員による口腔ケアが実施されており、そのうち毎日1回以上実施している施設がほとんどでした。

・障がい者(児)入所施設  
職員による口腔ケアを毎日1回以上実施している施設は9割ありました。それぞれ回答のあった施設の3割以上で実施されていました。  
一方で、体制等を理由に職員による口腔ケアを実施されていない施設も一部ありました。

### 介護老人福祉施設・介護老人保健施設

### 障がい者(児)入所施設

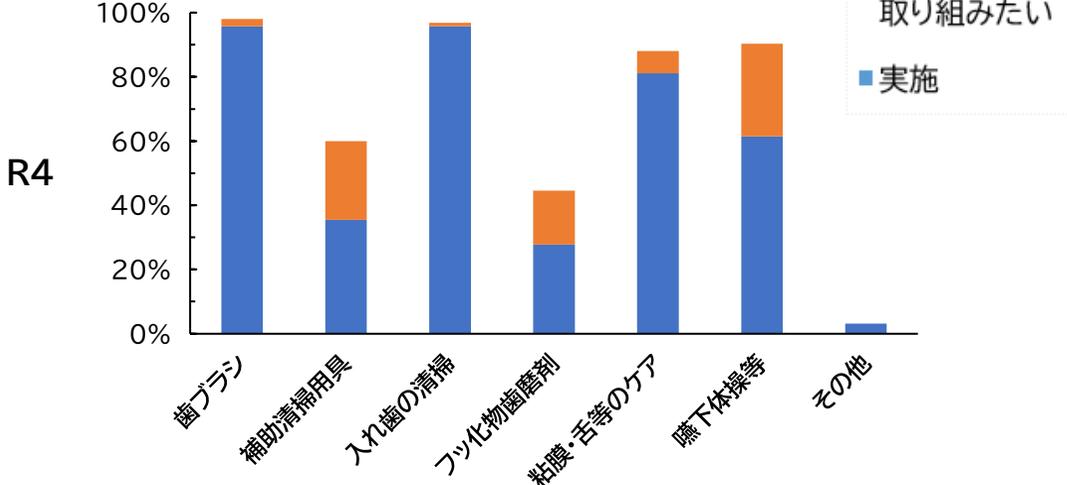


# 口腔ケアの実施内容と今後取り組みたいと考える口腔ケアの内容

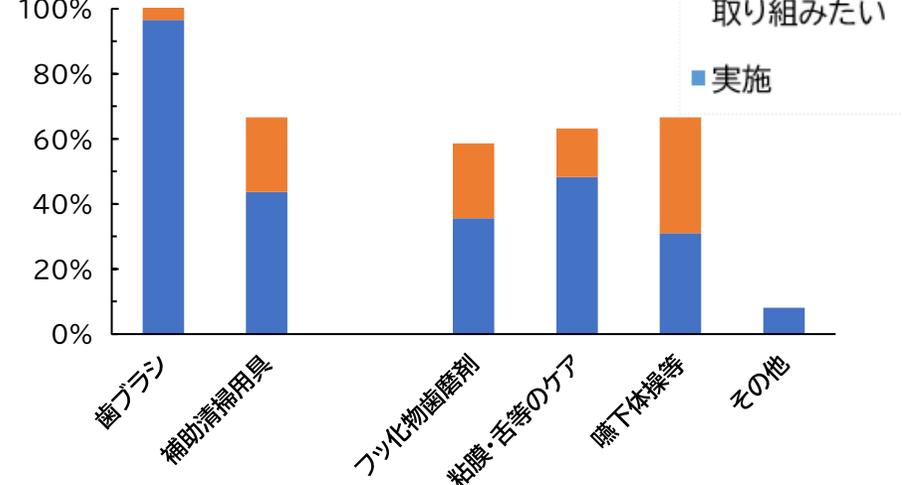
・介護老人福祉施設・介護老人保健施設  
 半数以上の施設で「歯ブラシによる清掃」以外の口腔ケアに取り組まれていました。  
 「歯間ブラシやデンタルフロスなど補助清掃用具を使った清掃」を行っている施設の割合は、R4調査と比較して増加しました。

・障がい者(児)入所施設  
 3割以上の施設で「歯ブラシによる清掃」以外の口腔ケアに取り組まれていました。

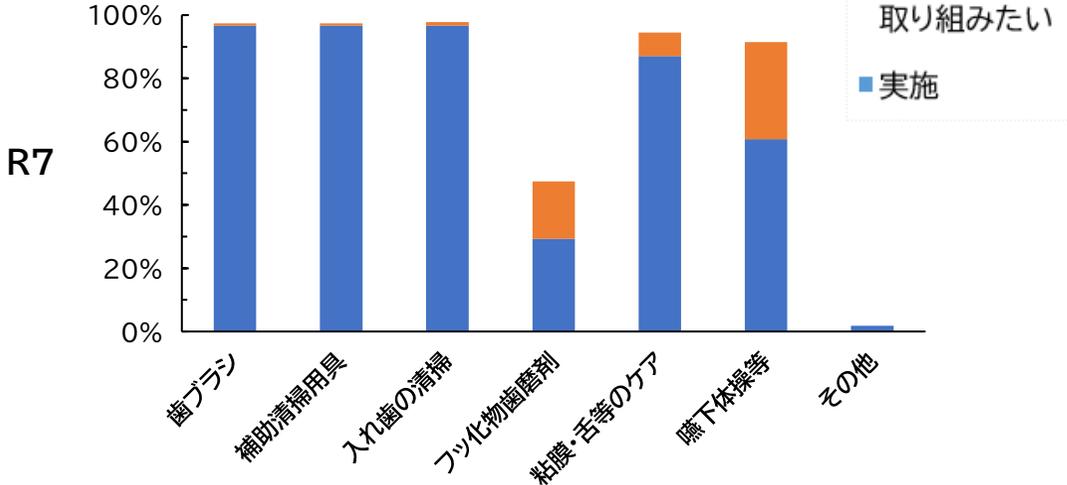
介護老人福祉施設・介護老人保健施設



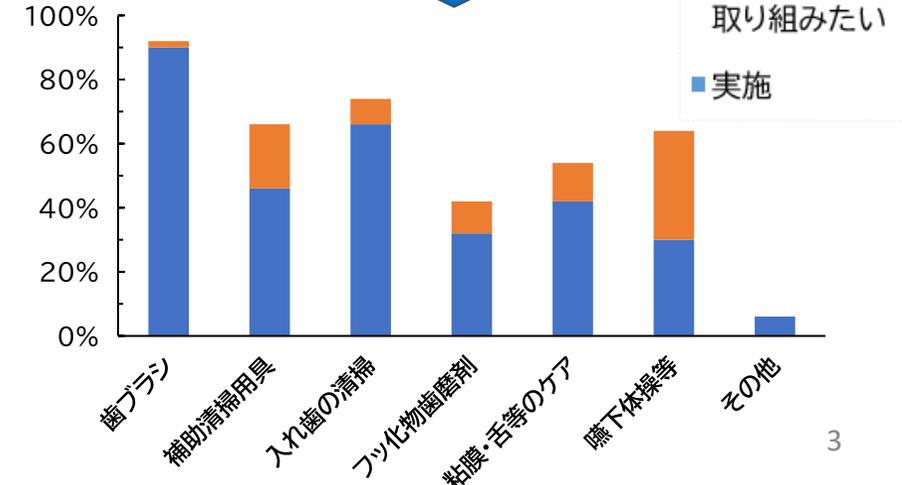
障がい者(児)入所施設



介護老人福祉施設・介護老人保健施設



障がい者(児)入所施設

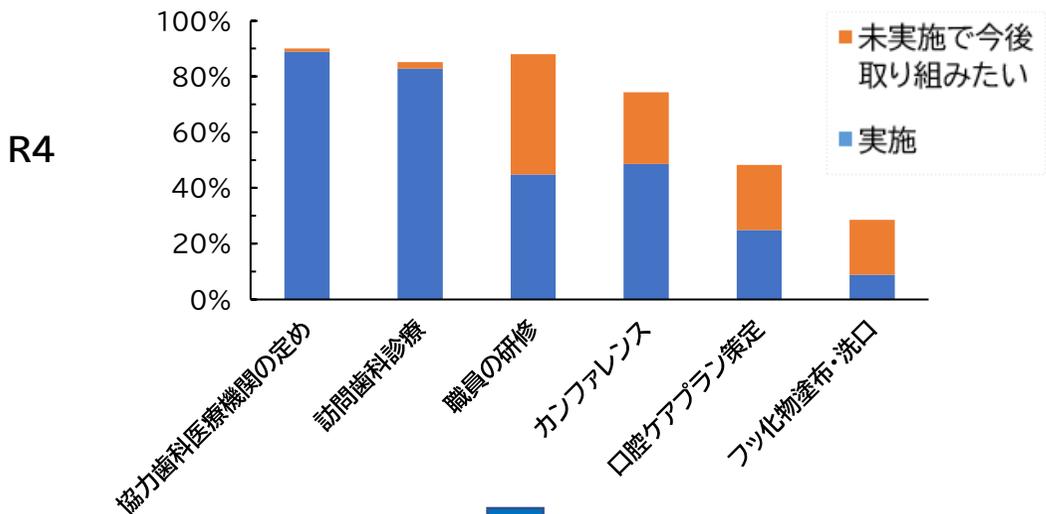


# 歯科保健に関する取組みの実施状況と今後取り組みたいと考えている歯科保健の内容

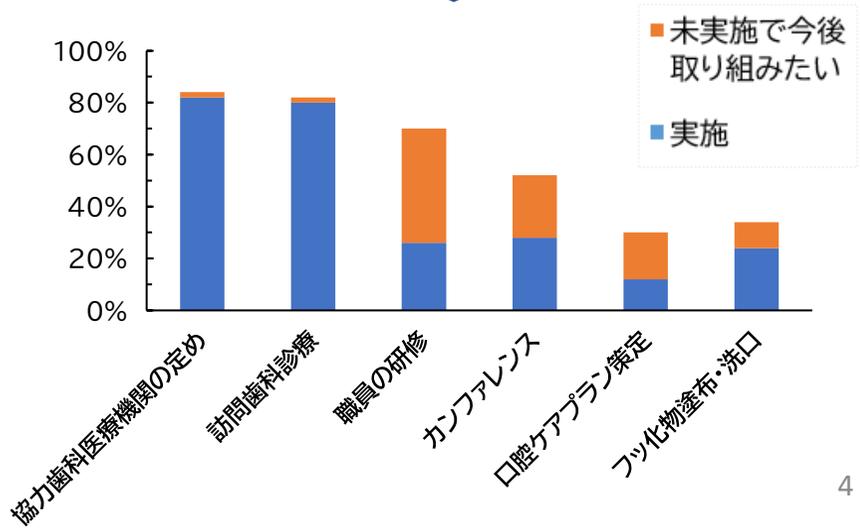
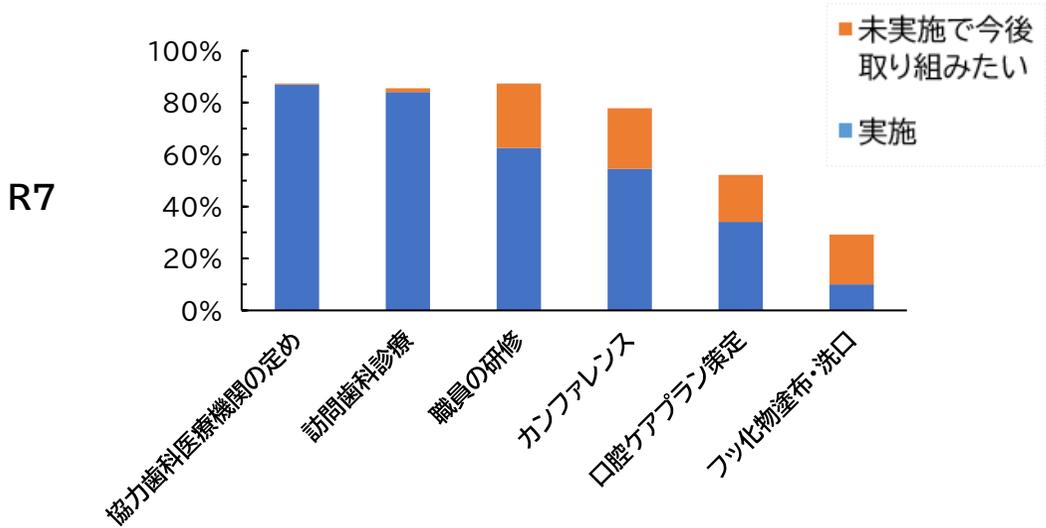
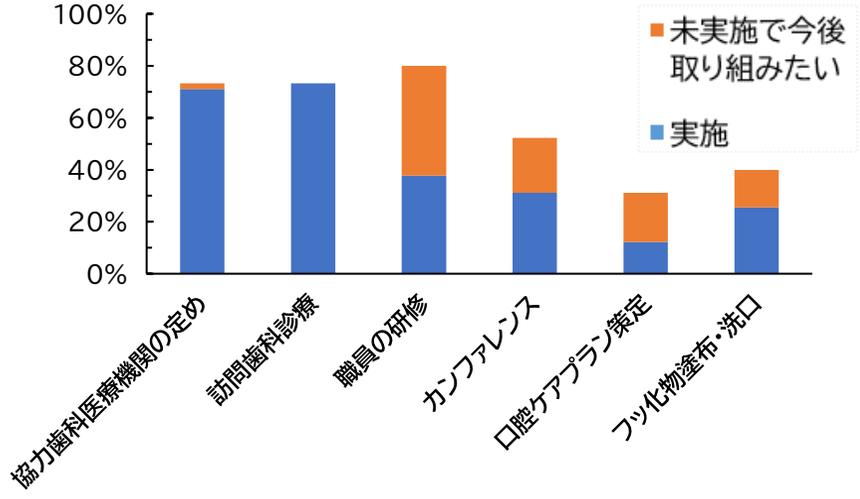
・介護老人福祉施設・介護老人保健施設  
 8割以上の施設で「施設の「協力歯科医療機関」を定めている」または「入所者に訪問歯科診療を受けさせている」といった取組みが実施されていました。

・障がい者(児)入所施設  
 「施設の「協力歯科医療機関」を定めている」または「入所者に訪問歯科診療を受けさせている」と回答した施設が約8割を占めました。

介護老人福祉施設・介護老人保健施設



障がい者(児)入所施設



## 各施設における歯科保健の取組状況アンケートの概要

### 1. 調査概要

第3次大阪府歯科口腔保健計画のベースライン値設定にあたり、定期的に歯科健診又は歯科医療を受けることが困難な者に対する歯科保健の実態を把握し、目標値設定や推進方策を検討するため、介護老人保健施設及び障がい者（児）入所施設における歯科保健の取組みについて、アンケート調査を行いました。

### 2. 調査期間

令和7年8月14日～令和7年9月5日

### 3. 調査対象

- ① 大阪府内に所在する介護老人福祉施設および介護老人保健施設 670 施設  
（内訳：介護老人福祉施設 447 施設、介護老人保健施設 223 施設）
- ② 大阪府内に所在する障がい児入所施設および障がい者入所施設 97 施設  
（内訳：障がい児入所施設 9 施設、障がい者入所施設 88 施設）

### 4. 調査項目

- (1) 施設の入所定員・入所者の構成
- (2) 口腔ケアの実施状況
- (3) 歯科医師による歯科健診の実施状況
- (4) 歯科保健に関する取組みの実施状況
- (5) 入所者のニーズ

### 5. 調査方法

- ① 大阪府または府内政令市・中核市の介護保険施設担当課を通じて各施設に依頼し、大阪府行政オンラインシステムから回答を得ました。
- ② 大阪府が発行する「福祉のてびき」に掲載されている障がい者（児）入所施設に対し、メールで調査依頼を送付し、大阪府行政オンラインシステムからから回答を得ました。

### 6. 回答状況（回答施設数）

- ① 介護老人福祉施設・介護老人保健施設 670 施設中 270 施設（回答率 40.3%）  
（内訳：介護老人福祉施設 171 施設、介護老人保健施設 99 施設）
- ② 障がい者（児）入所施設 97 施設中 50 施設（回答率 51.5%）

## 7. 調査結果

### (1) 介護老人福祉施設・介護老人保健施設

#### (ア) 施設の入所定員・入所者の構成

回答のあった施設の状況については、表1から表4に記載のとおりです。

	全施設 (N=270)		介護老人保健施設 (N=99)		介護老人福祉施設 (N=171)	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
介護老人福祉施設	171	63.3%	0	0%	171	100.0%
介護老人保健施設	99	36.7%	99	100%	0	0%

	(N=270)		(N=99)		(N=171)	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
50人未満	59	21.9%	14	14.1%	45	26.3%
50人以上100人未満	137	50.7%	53	53.5%	84	49.1%
100人以上150人未満	33	12.2%	16	16.2%	17	9.9%
150人以上200人未満	2	0.7%	2	2.0%	0	0.0%
200人以上	1	0.4%	0	0.0%	1	0.6%
無回答	38	14.1%	14	14.1%	24	14.0%

	(N=270)		(N=99)		(N=171)	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
50人未満	15	5.6%	4	4.0%	11	6.4%
50人以上100人未満	143	53.0%	27	27.3%	116	67.8%
100人以上150人未満	102	37.8%	63	63.6%	39	22.8%
150人以上200人未満	8	3.0%	5	5.1%	3	1.8%
200人以上	2	0.7%	0	0.0%	2	1.2%

	(N=270)		(N=99)		(N=171)	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
25%未満	133	49.3%	76	76.8%	57	33.3%
25%以上50%未満	75	27.8%	4	4.0%	71	41.5%
50%以上75%未満	9	3.3%	0	0.0%	9	5.3%
75%以上	2	0.7%	0	0.0%	2	1.2%
無回答	51	18.9%	19	19.2%	32	18.7%

(イ) 口腔ケアの実施状況

回答のあった全ての施設で職員による口腔ケアが実施されており、そのうち毎日1回以上実施している施設がほとんどでした。主に実施されている口腔ケアは多い順に「歯ブラシによる清掃」「補助清掃用具を使った清掃」「入れ歯の清掃」「スポンジブラシ、保湿剤等を用いた粘膜・舌等のケア」「嚥下体操等による口の機能のトレーニング」であり、いずれも半数以上の施設で取り組まれていました。

また、現在実施しておらず今後取り組みたいと考えている口腔ケアの内容は「嚥下体操等による口の機能のトレーニング」が最も多く、未実施の施設のうち7割以上から回答がありました。

	全施設 (N=270)		介護老人保健施設 (N=99)		介護老人福祉施設 (N=171)	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
すべての入所者に対し実施	131	48.5%	35	35.4%	96	56.1%
一部の入所者（障がいの程度や口腔の状態に配慮が必要な方等）に対し実施	139	51.5%	64	64.6%	75	43.9%
実施していない	0	0%	0	0%	0	0%

	(N=270)		(N=99)		(N=171)	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
毎日実施	269	99.6%	99	100.0%	170	99.4%
うち1日3回以上	166	61.5%	70	70.7%	96	56.1%
うち1日2回	75	27.8%	19	19.2%	56	32.7%
うち1日1回	28	10.4%	10	10.1%	18	10.5%
1週間に数回程度	1	0.4%	0	0.0%	1	0.6%

	(N=270)		(N=99)		(N=171)	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
入れ歯の清掃	261	96.7%	95	96.0%	166	97.1%
歯ブラシによる清掃	261	96.7%	93	93.9%	168	98.2%
歯間ブラシやデンタルフロスなど補助清掃用具を使った清掃	261	96.7%	93	93.9%	168	98.2%
フッ化物（フッ素）入り歯磨き剤の使用	79	29.3%	20	20.2%	59	34.5%
スポンジブラシ、保湿剤等を用いた粘膜・舌等のケア	235	87.0%	84	84.8%	151	88.3%
嚥下体操等による口の機能のトレーニング	164	60.7%	71	71.7%	93	54.4%
その他（※）	5	1.9%	4	4.0%	1	0.6%

※洗口剤でのうがい、歯科衛生士による指導等

表8 今後取り組みたいと考えている口腔ケアの内容（現在実施している施設を除く）

	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
入れ歯の清掃	3	33.3%	0	0.0%	3	60.0%
歯ブラシによる清掃	2	22.2%	2	33.3%	0	0.0%
歯間ブラシやデンタルフロスなど補助清掃用具を使った清掃	2	22.2%	2	33.3%	0	0.0%
フッ化物（フッ素）入り歯磨き剤の使用	49	25.7%	18	22.8%	31	27.7%
スポンジブラシ、保湿剤等を用いた粘膜・舌等のケア	20	57.1%	9	60.0%	11	55.0%
嚥下体操等による口の機能のトレーニング	83	78.3%	21	75.0%	62	79.5%

（ウ）歯科医師による歯科健診の実施状況

歯科医師による定期的な歯科健診を実施している施設は69.3%あり、前回調査（令和4年度：55.1%）と比較して増加していました。

一方で、歯科健診を実施していない施設もあり、その理由としては「定期的に歯科医師・歯科衛生士に診てもらっており、健診の必要がない」と回答した施設が最も多くありました。

表9 歯科医師による歯科健診の実施状況

	全施設 (N=270)		介護老人保健施設 (N=99)		介護老人福祉施設 (N=171)	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
定期的実施	187	69.3%	54	54.5%	133	77.8%
うち年に3回以上	142	52.6%	40	40.4%	102	59.6%
うち年に2回	13	4.8%	5	5.1%	8	4.7%
うち年に1回	32	11.9%	9	9.1%	23	13.5%
不定期（数年に1回程度）	54	20.0%	29	29.3%	25	14.6%
実施していない	29	10.7%	16	16.2%	13	7.6%

表10 歯科医師による歯科健診を実施していない理由

	(N=29)		(N=16)		(N=13)	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
定期的に歯科医師・歯科衛生士に診てもらっており、健診の必要がない	22	75.9%	11	68.8%	11	84.6%
本人や家族から希望がない	5	17.2%	5	31.3%	0	0.0%
施設側の体制（時間、人員、場所等）を確保できない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
健診を依頼できる歯科医療機関がない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他（※）	1	3.4%	0	0.0%	1	7.7%
無回答	1	0.4%	0	0.0%	1	0.6%

※不定期ではあるが、口腔内の清掃や入れ歯の調整、痛み等があれば歯科医に診てもらっているため

(エ) 歯科保健に関する取組みの実施状況

8割以上の施設で「施設の「協力歯科医療機関」を定めている」または「入所者に訪問歯科診療を受けさせている」といった取組みが実施されていました。

一方で、「職員が歯と口の健康に関する研修を受ける機会を設ける」「施設内のカンファレンス等において、入所者の歯と口の健康についてとりあげる」ことについては、未実施であり今後取り組みたいと考えている施設が、全体の2割程度ありました。

表1-1 歯科保健に関する取組みの実施状況	全施設 (N=270)		介護老人保健施設 (N=95)		介護老人福祉施設 (N=169)	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
施設の「協力歯科医療機関」を定めている	235	87.0%	87	91.6%	148	87.6%
入所者に訪問歯科診療を受けさせている	227	84.1%	82	86.3%	145	85.8%
職員が歯と口の健康に関する研修を受ける機会を設けている	169	62.6%	59	62.1%	110	65.1%
施設内のカンファレンス等において、入所者の歯と口の健康についてとりあげている	147	54.4%	57	60.0%	90	53.3%
入所者一人ひとりの口腔ケアプランを策定している	92	34.1%	42	44.2%	50	29.6%
入所者にフッ化物(フッ素)塗布やフッ化物洗口の機会を設けている	27	10.0%	5	5.3%	22	13.0%

表1-2 今後取り組みたいと考えている歯科保健の内容(現在実施している施設を除く)

	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
施設の「協力歯科医療機関」を定める	1	2.9%	0	0.0%	1	4.3%
入所者に訪問歯科診療を受けさせる	4	9.3%	2	11.8%	2	7.7%
職員が歯と口の健康に関する研修を受ける機会を設ける	67	66.3%	31	77.5%	36	59.0%
施設内のカンファレンス等において、入所者の歯と口の健康についてとりあげる	63	51.2%	19	45.2%	44	54.3%
入所者一人ひとりの口腔ケアプランを策定する	49	27.5%	13	22.8%	36	29.8%
入所者にフッ化物(フッ素)塗布やフッ化物洗口の機会を設ける	52	21.4%	21	22.3%	31	20.8%

(オ) 入所者のニーズ

入所者の歯科保健に関するニーズについて約9割の施設が「十分満たしている」「ある程度満たしている」と回答しました。一方で、「やや不足している」「まったく不足している」こととして、口腔ケアに関する講習や人手の不足等に関する意見が寄せられました。

表1-3 歯科保健に関する取組みに係る入所者の満足度	(N=270)		(N=99)		(N=171)	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
十分満たしている	22	8.1%	5	5.1%	17	9.9%
ある程度満たしている	223	82.6%	80	80.8%	143	83.6%
やや不足している(※)	22	8.1%	11	11.1%	11	6.4%
まったく不足している(※)	3	1.1%	3	3.0%	0	0.0%
歯科保健に関するニーズはない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

※人手不足、専門の講習等の機会が少なく最新の情報が不足気味、備品の整備が難しい、協力医療機関の訪問回数に限られているため十分な対応が出来ていない等

(2) 障がい者（児）入所施設

(ア) 施設の入所定員・入所者の構成

回答のあった施設の状況については、表1から表5に記載のとおりです。

表1 施設種別 (N=50)

	施設数	割合
福祉型障がい児入所施設	3	6.0%
医療型障がい児入所施設	1	2.0%
施設入所支援	46	92.0%

表2 施設の職員数 (N=50)

	施設数	割合
50人未満	31	62.0%
50人以上100人未満	14	28.0%
100人以上150人未満	1	2.0%
150人以上200人未満	0	0.0%
200人以上	0	0.0%
無回答	4	8.0%

表3 施設の入所定員 (N=50)

	施設数	割合
50人未満	23	46.0%
50人以上100人未満	23	46.0%
100人以上150人未満	4	8.0%
150人以上200人未満	0	0.0%
200人以上	0	0.0%

表4 入所者のうち障害支援区分6の割合 (N=50)

	施設数	割合
25%未満	6	12.0%
25%以上50%未満	8	16.0%
50%以上75%未満	14	28.0%
75%以上	17	34.0%
無回答	5	10.0%

表5 入所者の構成（複数回答）

(N=50)

	施設数	割合
身体障がい	30	60.0%
知的障がい	48	96.0%
精神障がい（発達障がいを含む）	23	46.0%
難病	9	18.0%
医療的ケア児	1	2.0%

## （イ）口腔ケアの実施状況

回答のあった施設うち、職員による口腔ケアを毎日1回以上実施している施設は9割ありました。実施内容としては「歯ブラシによる清掃」が9割と最も多く、この他、多い順に「入れ歯の清掃」「歯間ブラシやデンタルフロスなど補助清掃用具を使った清掃」「スポンジブラシ、保湿剤等を用いた粘膜・舌等のケア」「フッ化物（フッ素）入り歯磨き剤の使用」となっており、それぞれ回答のあった施設の3割以上で実施されていました。

一方で、施設の体制等を理由に実施されていない施設が、6%存在しました。

表6 口腔ケアの実施状況

(N=50)

	施設数	割合
すべての入所者に対し実施	34	68.0%
一部の入所者（障がいの程度や口腔の状態に配慮が必要な方等）に対し実施	13	26.0%
実施していない	3	6.0%

表7 口腔ケアの実施頻度

(N=50)

	施設数	割合
毎日実施	45	90.0%
うち1日3回以上	29	58.0%
うち1日2回	12	24.0%
うち1日1回	4	8.0%
1週間に数回程度	2	4.0%
無回答	3	6.0%

表8 口腔ケアの実施内容（複数回答）

(N=50)

	施設数	割合
歯ブラシによる清掃	45	90.0%
入れ歯の清掃	33	66.0%
歯間ブラシやデンタルフロスなど補助清掃用具を使った清掃	23	46.0%
フッ化物（フッ素）入り歯磨き剤の使用	16	32.0%
スポンジブラシ、保湿剤等を用いた粘膜・舌等のケア	21	42.0%
嚥下体操等による口の機能のトレーニング	15	30.0%
その他	3	6.0%

表9 口腔ケアを実施していない理由（複数回答）

(N=3)

	施設数	割合
施設側の体制（時間、人員、場所等）を確保できない	2	66.7%
実施するための知識・技術が不足している	1	33.3%
本人や家族から希望がない	2	66.7%

表10 今後取り組みたいと考えている口腔ケアの内容（現在実施しているものを除く）

	施設数	割合
歯ブラシによる清掃	1	20.0%
入れ歯の清掃	4	23.5%
歯間ブラシやデンタルフロスなど補助清掃用具を使った清掃	10	37.0%
フッ化物（フッ素）入り歯磨き剤の使用	5	29.4%
スポンジブラシ、保湿剤等を用いた粘膜・舌等のケア	6	17.6%
嚥下体操等による口の機能のトレーニング	17	58.6%

#### （ウ） 歯科医師による歯科健診の実施状況

歯科医師による定期的な歯科健診を実施している施設は 84.0%ありました（前回調査：令和4年度調査では 70.0%）。一方で、歯科健診を実施していない施設もあり、その理由としては「定期的に歯科医師・歯科衛生士に診てもらっており、健診の必要がない」「学校健診がある」との回答がありました。

表11 歯科医師による歯科健診の実施状況

(N=50)

	施設数	割合
定期的実施	42	84.0%
うち年に3回以上	32	64.0%
うち年に2回	2	4.0%
うち年に1回	8	16.0%
不定期（数年に1回程度）	6	12.0%
実施していない	2	4.0%

表12 歯科医師による歯科健診を実施していない理由 (N=2)

	施設数	割合
定期的に歯科医師・歯科衛生士に診てもらっており、健診の必要がない	1	50.0%
施設側の体制（時間、人員、場所等）を確保できない	0	0.0%
健診を依頼できる歯科医療機関がない	0	0.0%
本人や家族から希望がない	0	0.0%
その他（※）	1	50.0%

※学校健診があるため

### (工) 歯科保健に関する取組みの実施状況

「施設の「協力歯科医療機関」を定めている」または「入所者に訪問歯科診療を受けさせている」と回答した施設が約8割を占めました。一方で、これらを実施していない施設のうち「今後取り組みたい」と回答した施設はそれぞれ1割程度でした。

また、7割以上の施設で「職員が歯と口の健康に関する研修を受ける機会」が設けられておらず、さらにその内の約6割の施設では、今後、研修の機会を設けたいと考えていることがわかりました。

表13 歯科保健に関する取組みの実施状況（複数回答） (N=50)

	施設数	割合
施設の「協力歯科医療機関」を定めている	41	82.0%
入所者に訪問歯科診療を受けさせている	40	80.0%
施設内のカンファレンス等において、入所者の歯と口の健康についてとりあげている	14	28.0%
職員が歯と口の健康に関する研修を受ける機会を設けている	13	26.0%
入所者にフッ化物（フッ素）塗布やフッ化物洗口の機会を設けている	12	24.0%
入所者一人ひとりの口腔ケアプランを策定している	6	12.0%

表14 今後取り組みたいと考えている歯科保健の内容（現在実施しているものを除く）

	施設数	割合
施設の「協力歯科医療機関」を定める	1	11.1%
入所者に訪問歯科診療を受けさせる	1	10.0%
施設内のカンファレンス等において、入所者の歯と口の健康についてとりあげる	12	33.3%
職員が歯と口の健康に関する研修を受ける機会を設ける	22	59.5%
入所者にフッ化物（フッ素）塗布やフッ化物洗口の機会を設ける	5	13.2%
入所者一人ひとりの口腔ケアプランを策定する	9	20.5%

### (オ) 入所者のニーズ

入所者の歯科保健に関するニーズについて約 8 割の施設が「十分満たしている」「ある程度満たしている」と回答しました。一方で、施設の実践が「やや不足している」または「まったく不足している」と回答した施設が 16.0%あり、支援にかかる人員や時間に関する課題や、利用者の特性への対応が難しいといった意見が寄せられました。

表 1 5 歯科保健に関する取り組みに係る入所者の満足度 (N=50)

	施設数	割合
十分満たしている	6	12.0%
ある程度満たしている	35	70.0%
やや不足している(※)	7	14.0%
まったく不足している	1	2.0%
歯科保健に関するニーズはない	1	2.0%

※ 歯科への通院にあたり職員による付き添い等が難しく十分に対応できていないことがある、支援時間や人員の関係で口腔ケアが十分にできていない、利用者の特性（口を開けることが困難、拒否が強い、入所前から習慣化できていない等）から口腔ケアが難しい 等